

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 1 日

事業名称		コミュニティバス等運行事業費 [コミュニティバス運行事業（運行事業補助金）]							
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業番号	6	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）								
担当部署・課長名	都市計画		課	計画調整	係	課長名	稲毛 秀憲		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 4		
【施策名】 道路・交通の整備						総合計画書（ページ）	89		
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）					
	市民・市内公共交通網			市の人口					
	→								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）					
この仕事の目的	駅や公共施設への移動の利便性が向上する。 コミュニティバスを持続可能なものとする。			①乗車人数（延べ乗客数） ②収支率（運行収入／運行経費×100）					
	→								
	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）					
	循環ルートと往復ルートの2ルートとし、2ルート間での乗継が可能で東大和市駅・玉川上水駅に乗り入れることができる運行を行っている。便数は平成28年10月1日から平日・土曜が1日44便、日曜・祝日は1日40便となった。			年間運行便数					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294			
	成果指標	②の数値	人・%	①160,145 ②31.9	①161,253 ②31.2	①121,146 ②22.9			
	目 標	②の目標値	%	40	40	40	40	40	
	目標値設定の考え方 東大和市コミュニティバス等運行ガイドラインに定めているため。								
活動指標	③の数値	便	15,728	15,737	15,732				
3 経費	事業費（実績）		円	50,627,478	58,770,044	61,378,145	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）		
	財源	一般財源	円	50,627,478	58,770,044	61,378,145			
		特定財源（国・都・他）	円	0	0	0			
		（うち受益者負担）	円	0	0	0			
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	1.0	1.0	1.0			
		所要人数（再任用）	人	0.0	0.0	0.0			
		職員人件費（再任用以外）	円	8,244,000	8,310,000	8,380,000			
		職員人件費（再任用）	円	0	0	0			
事業費＋人件費		円	58,871,478	67,080,044	69,758,145				
4 環境変化等	（1）開始年度 平成14 年度								
	（2）環境の変化 H21年度、H26年度、H28年度、H29年度にルート、時刻表の見直し、運賃の改定、交通系ICカードの導入を経て現在は循環ルートと往復ルートの2ルートで運行している。また、R元年10月には消費税改定に伴いICカード運賃の改定を実施した。 R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により乗車人数が大きく落ち込んだ。								

事業名称	コミュニティバス等運行事業費 [コミュニティバス運行事業（運行事業補助金）]			
担当部署・課長名	都市計画	課	計画調整	係 課長名 稲毛 秀憲

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 増便やシルバーバスの適用、ルート変更について要望が寄せられている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 乗車人数は増加傾向であったが、3月は新型コロナウイルス感染症の影響で乗車人員が大幅に減少した。収束までの間、収入が減少することに伴い、補助金の増加が見込まれる。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 公共交通における感染防止対策について市公式ホームページ、SNS等でPRした。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 収支の悪化が一過性のものか継続的なものかを見極めながら、適切な対応を検討・実施していく必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 道路・交通の整備 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ワクチン接種後の外出行動の変化を注視しつつ、収支の悪化が一過性のものか継続的なものかを見極めながら公共交通の安全性のPRに努めるほか、実施可能な利用促進策を検討するなど必要な対応を行う。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	新型コロナウイルス感染症の状況を注視する必要がある。			